

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回和泉市社会教育委員会議
開催日時	令和6年3月1日（金） 10時00分から11時00分まで
開催場所	和泉市役所本館3階 3B会議室
出席者	<p>（委員）大場 美枝副議長、島居 佳子委員、坂井 庸一郎委員、上西 恵子委員          駒澤 重信委員、金谷 忠男委員、辻本 久子委員、水沼 友宏委員</p> <p>（事務局）小川教育長、辻生涯学習部長</p> <p>生涯学習推進室：西田室長、藤原青少年センター所長、山本スポーツ振興担当課長、          橋本生涯学習担当課長、奥田総括主幹、米田総括主幹、          堀田総括主査</p> <p>文化遺産活用課：森下課長</p> <p>久保惣記念美術館：田中館長代理、橋詰総括参事</p>
会議の議題	<p>1. 議案          (1) 令和6年度社会教育関係団体に対する補助金の交付（案）について</p> <p>2. 報告          (1) 令和5年度社会教育委員事業報告について          (2) 令和6年度社会教育委員会議・研修等のスケジュール（案）について          (3) 令和5年度生涯学習部事業報告について          (4) 令和6年度生涯学習部関係の主な事業（案）の概要について</p> <p>3. その他</p>
会議の要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育法第17条の規定に基づき、社会教育に関する諸計画を立案し、教育委員会の諮問に応じて意見を述べるため、定時又は臨時に会議を開催する。</li> <li>・令和6年度の社会教育関係団体への補助金内容の説明を行い、委員意見を聴取した。</li> <li>・令和5年度の事業結果及び令和6年度の事業予定を報告し、委員意見を聴取した。</li> </ul>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（次回会議出席者の確認を得ている）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の形式：公開</li> <li>・傍聴人：1人</li> <li>・議事録の公開：有り</li> </ul>

## 審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（司会進行：事務局）

### ・事務局より会議開催についての説明

本会議は公開することとなっていること、傍聴者が1名であることを報告。  
会議資料の確認

### ・事務局より出席委員数の確認

委員総数9名のうち、出席委員8名、欠席者1名となっており、和泉市社会教育委員会議規則第5条の規定に基づき、本会議は成立していることを報告。

（司会進行：大場副議長）

## 1. 教育長挨拶

## 2. 議案

### 議案（1）令和5年度社会教育委員事業報告について

（事務局）

社会教育法第13条では、「地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない。」と規定されている。

現在、生涯学習部の社会教育団体として運営されているのは、和泉市文化協会、和泉市青少年指導員協議会、和泉市子ども会育成連絡協議会、和泉市PTA協議会、和泉市子ども会リーダークラブの5団体。

令和6年度予算として、事務局にて精査を行い、文化協会が17万4千円の減額、青少年指導員協議会が15万3千円の増額、PTA協議会が11万9千円の増額、子ども会育成連絡協議会及び子ども会リーダークラブは昨年度と同額の補助金交付を予定。

増減の理由は、文化協会については、各加盟団体への活動助成金や施設使用料補助にかかる要綱を見直し、改定することに加え、加盟団体の合併などによる影響により減額となっているが、各事業の開催に影響はないと考えている。

青少年指導員協議会については、令和6年度、令和7年度に泉北ブロックの連絡協議会担当市となるため研修会等の費用を増額。

PTA協議会については、主要事業である広報紙を各学校の活動の様子がよく伝わるように令和2年度からカラーに変更し発行しており、近年の印刷費の高騰により、他の事業予算を圧迫し、影響が生じる事態となっていることから、印刷費にかかる費用を増額。なお、本市PTA協議会の広報紙については、大阪府PTA協議会広報紙コンクールでも高い評価を得るなど、現在のカラー広報紙を継続することで事業内容の広い周知を図れると考えている。

なお、正式な予算の決定は、3月議会の承認後となる。

※質疑事項なし

（大場副議長）

それでは、事務局においては、原案どおり進めるようお願いいたします。

## 2. 報告

（事務局より報告1・2は一括説明）

### 報告（1）令和5年度社会教育委員事業報告について

まず、令和5年9月8日の近畿地区社会教育研究大会滋賀大会は、滋賀県の立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催され、大場副委員長、金谷委員、駒澤委員が出席。

研究主題は「地域への愛着と誇りを育てる社会教育」で、滋賀県立大学講師で米原市・高島市の社会教育委員である 上田 洋平氏 による記念講演の後、「青少年教育」、「地域づくり」「家庭教育支援」等5つの分科会に分かれ、研究討議が行われた。

次に、令和6年1月19日の泉北・泉南地区各市町社会教育委員研修会については、阪南市の阪南市立文化センターで開催され、大場副委員長、上西委員、金谷委員、駒澤委員が出席。

「阪南市の文化財啓発について」をテーマとして、阪南市職員からの発表と和歌山大学紀州経済史文化史研究所准教授 吉村 旭輝氏による講演「泉州地域の祭礼文化とその歴史―やぐらとだんじりを中心として―」が開催。

次に、令和6年2月15日の大阪府社会教育研究会議については、シティプラザ大阪で開催され、駒澤委員が出席。

天理大学 人間学部 生涯教育専攻 教授 岡田 龍樹 氏による「社会教育における人材育成」をテーマとした講演の後、グループに分かれて意見交換を行った。

## 報告（2）令和6年度社会教育委員会議・研修等のスケジュール（案）について

「令和6年度近畿地区社会教育研究大会」については、令和6年9月6日に、京都府の京都テルサでの開催を予定。

「大阪府社会教育研究会議」は令和6年2月頃に開催を予定。

「泉北・泉南地区社会教育委員研修会」は、来年度本市が担当市となっており、来年1月から3月の間に開催予定。（前回担当市であった平成30年度は久保惣記念美術館にて開催）

最後に、「社会教育委員会議」は、年2回程度の開催とし、時期は令和6年9月と令和7年3月頃に開催を予定。

それぞれの日程については、詳細が決定次第、事務局より案内を予定。

※質疑事項なし

（事務局）

## 報告（3）令和5年度生涯学習部事業報告について

各課より資料に沿って報告

（大場副議長）

XやYouTubeなど、久保惣記念美術館では、新しい媒体を用いてPRをしている印象である。

（事務局）

いかにして美術館の魅力を知ってもらうのか職員間で日々議論している。その中で、既存の紙媒体だけでなく、手軽に情報を得られ、情報が広がっていくという部分での効果を期待して、XやYouTube等を活用している。

（駒澤委員）

青少年センターについて、青少年自主活動支援事業について、例年74万円程度の予算である。青少年の健全育成のため、もっと市内全域から多くの方が参加できるよう、様々な検討が必要ではないか。

（事務局）

青少年自主活動支援事業については、市の広報やホームページ等で周知を行っている。より多くの方にご参加いただくため、より効果的なその他の周知方法等についても、検討したい。

（駒澤委員）

文化遺産活用課について、黄金塚古墳の基礎整備は行ったが、黄金塚古墳に行くまでの道が狭く、多くの観光客が訪れることができる場所ではない。歴史的に非常に価値のある古墳なので、多くの市外の方を呼び込めるような整備をしてほしい。

(事務局)

黄金塚古墳の本格整備については、池上曽根史跡公園の整備が完了した後になる予定。それまでの間でも、黄金塚古墳をPRするために、各種団体と連携したイベントの開催など、できることは積極的に行っていきたい。

(駒澤委員)

久保惣記念美術館について、休館中であることから、市民講座等に力を入れているが、休館期間が終了した後も、美術館を知ってもらうために、引き続き力を入れてほしい。

(事務局)

今年度初めて休館期間を利用し学芸員が美術館以外の場所での出前講座を実施し、多くの方に美術館の魅力を知ってもらうことができた。

これまでは申込があれば、美術館内で実施し、実際に本物を見ていただくことでより深く作品を知ってもらう講座をおこなってきた。休館期間終了後も、以前と同様に美術館内での講座実施を予定しており、美術館以外の場所での出前講座については、今後検討したい。

(事務局)

#### 報告(4) 令和6年度生涯学習部関係の主な事業の概要について

各課より資料に沿って報告

(金谷委員)

スポーツ振興担当について、(仮称)北部総合スポーツセンターは、市民体育館やコミュニティ体育館よりも大規模な施設になるのか。

(事務局)

(仮称)北部総合スポーツセンターは、旧泉北水道企業団の跡地を候補地としており、敷地全体としては15.7ヘクタールあるものの、当該施設の規模や機能については、今後整理していく予定。

なお、当該施設は、基本的に屋外施設を予定しており、体育館については、富秋中学校区に整備予定のアリーナにて検討を進めている。

(金谷委員)

スポーツというのは喜びを共有できるもの。それを実現できるような施設にしてほしい。空調設備は設置予定なのか。

(事務局)

空調設備については、施設の機能規模に応じて検討する予定。

(駒澤委員)

以前もお願いしていたが、スケートボード場の整備予定はないのか。青少年指導員として、街中でスケートボードをしている青少年に指導を行っているが、心置きなくスケートボードを楽しめる場所を用意してほしい。

(事務局)

現在、「(仮称)池上曽根プレイステージ」として、池上曽根史跡公園の整備に着手している。令和8年度の一部リニューアルオープンを予定しており、その中で、多目的広場としてスケートボード場を整備予定である。

(大場副議長)

市全体として、前例踏襲の仕事だけでは、時代から取り残されてしまう。市の発展のため、常にアンテナを張って、その時代のニーズに合った新しい事業を展開してもらいたい。

### 3. その他

※質疑・意見なし

(大場副議長)

本日の議事は全て終了した。

(事務局)

本日の社会教育委員会議を終了する。

以上